

目標Ⅳ 笑顔のある暮らしづくり

課題7 暮らしの中の男女共同参画を推進する

現 況

男女共同参画社会は、ライフスタイルやニーズに応じ、男女が自分の意思で、自分の生き方や暮らし方を選択できる社会であり、女性のみならず、男性にとっても暮らしやすい社会です。

しかしながら、男性の多くは、男女共同参画は「女性の問題」あるいは「家庭の問題」であるとの認識であり、「男性の問題」、「日本の将来の問題」としてとらえる意識が低い状況にあると考えられます。

「境港市男女共同参画に関する市民意識調査」によると、「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して、「賛成」あるいは「どちらかといえば賛成」と考える割合が男性45.5%に対して、女性23.4%となっており、固定的性別役割分担意識が男性により強く残っていることがうかがえます。

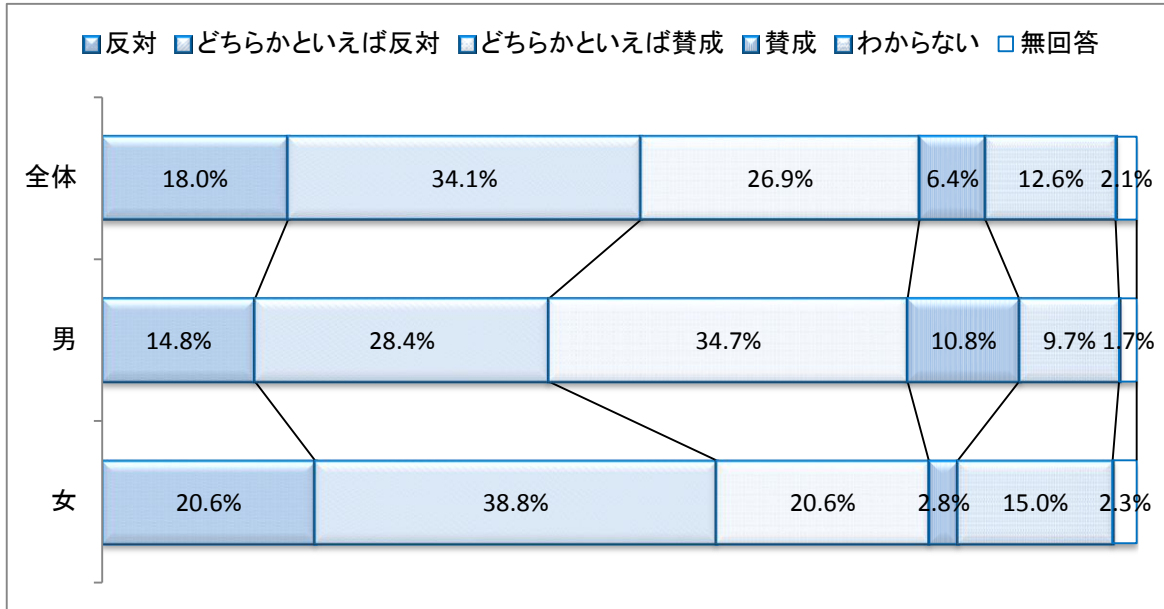
また、「家庭における役割分担」については、掃除、洗濯、買い物、食事については、「父・夫」と答えた割合が2%程度であるのに対し、「母・妻」と答えた割合は50%～70%代となっており、女性にその負担が集中している結果となっています。

男女共同参画社会は、男性にとっても暮らしやすい社会となるものであり、また、日本の社会にとっても大変重要な課題であります。

今後、男性に対して、男女共同参画の意義や必要性について理解を深める働きかけを行うとともに、将来を担う子どもたちに対しても、男女共同参画を正しく理解し、個性と能力を発揮できる大人に育つよう、子どもの頃からの啓発に努めていく必要があります。

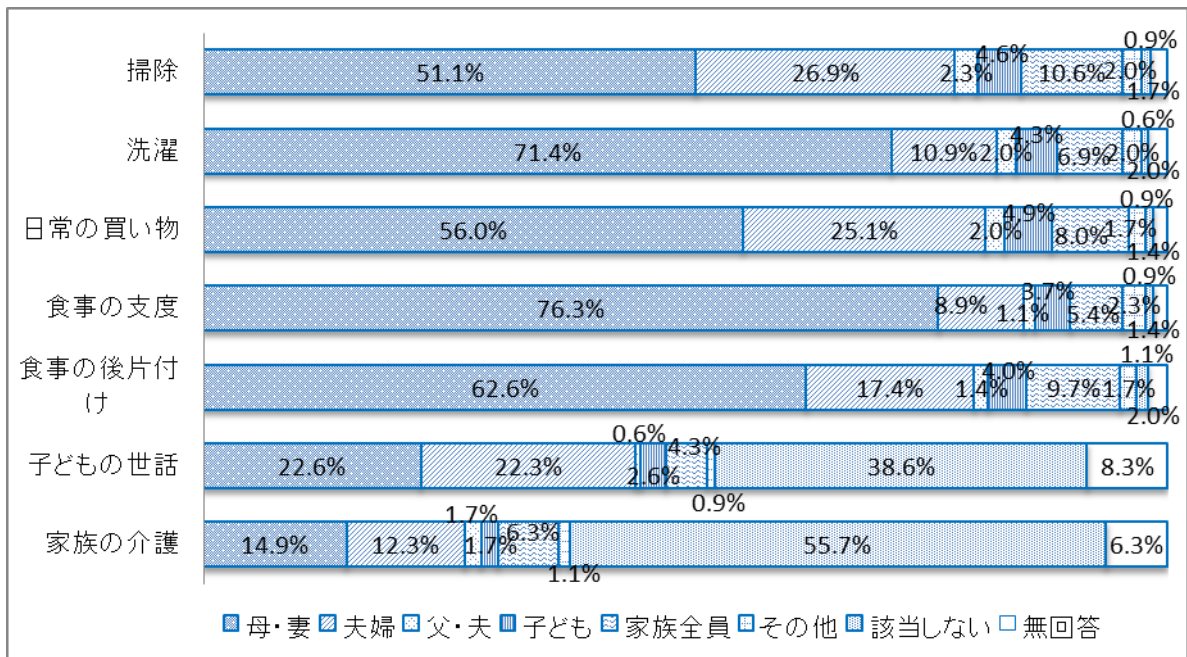
「男は仕事、女は家庭」という考え方について

【問】「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。



家庭における役割分担

【問】 普段の生活においてあなたのご家庭では、主にどなたが行っていますか。



[平成24年度境港市男女共同参画に関する市民意識調査]

役 割

〈注〉境港市男女共同参画推進条例のなかで、「責務」が明記されている「市民」、「事業者」、「市民活動団体」、「教育関係者」、「市」について、「役割」を定めます。

市 民

男女がともに、仕事と家庭のバランスのとれた働き方・家庭のあり方を考え、男性は、家事や育児、介護などに積極的に参画します。

教育関係者

子どもの発達段階に応じ、人権尊重や男女共同参画の意識をはぐくむ教育を充実します。

市

男性の男女共同参画に関する理解を促進するため広報・啓発や、家事や育児、介護などへの参画を促進するための研修会などの情報を提供します。

施策（15） 男性にとっての男女共同参画の理解を促進
します。

【 施策の基本的方向 】

男性の固定的性別役割分担意識を解消し、男女共同参画の意義や必要性について理解を促進するため、広報・啓発や学習機会の情報提供を行います。

【 主な取組 】

- ◇市報「みんなで拓く人権文化」欄等で、男性にとっての男女共同参画の理解を促進します。
- ◇鳥取県男女共同参画センター（よりん彩）が開催する男性向けの研修会の情報提供を行います。

施策（16） 家庭生活への男性の参画を促進します。

【 施策の基本的方向 】

あらゆる世代の男性が、家庭生活に参画することのやりがいや喜びを見出すことができるよう、家事、子育て、介護に関する学習機会の提供を行います。

【 主な取組 】

- ◇父親の育児・家事・介護への参加が図られるよう、両親学級や家族介護教室等の事業を実施します。
- ◇鳥取県男女共同参画センター（よりん彩）が開催する男女共同参画イベント・研修会の情報提供を行います。

施策（17） 子どもの男女共同参画の理解を促進します。

【 施策の基本的方向 】

子どもたちが発達段階に応じ、人権尊重や男女共同参画について理解を深められるよう、学校や家庭において教育・啓発に努めます。

【 主な取組 】

- ◇子ども用のパンフレットを作成・配布し、広報・啓発を行います。
- ◇学校生活全般にわたり、人権の尊重や男女共同参画等の指導を行います。

課題 8 自立と協働をはぐくみ、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進める

現 況

少子・高齢化が進み、雇用や就業環境が厳しさを増す中、貧困に苦しむ人や地域社会で孤立する人など、様々な困難を抱える人が増えています。

特に、ひとり親家庭、障がいのある人、高齢者や女性は、厳しい生活環境や雇用環境に置かれやすい状況にあります。そのうち女性は、非正規雇用者が多いことや、ドメスティックバイオレンス、セクシュアルハラスメントの被害などにより社会生活に支障をきたし、生活上の困難に陥りやすくなっています。

今後は、男女共同参画の視点から、様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境の整備を行う必要があります。

役 割

〈注〉境港市男女共同参画推進条例のなかで、「責務」が明記されている「市民」、「事業者」、「市民活動団体」、「教育関係者」、「市」について、「役割」を定めます。

市 民

高齢者や障がいがある人を、地域で受け入れます。高齢者も、これまでの経験を生かして、地域活動に積極的に参画します。

すべての市民が、高齢者や障がいのある人への理解を深め、配慮や手助けを実践します。

市

高齢者、障がいがある人が、社会を支える重要な一員として、家庭や地域で、安心して暮らせるよう、地域生活の支援や生活環境の向上に取り組みます。

施策（18） 高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

【 施策の基本的方向 】

高齢者が自立し、安心して暮らせるためには、男女の生活実態、意識、身体機能等の違いに配慮したきめ細かな自立支援策の展開が必要です。

高齢者が地域と関われるよう、高齢者の生きがいや仲間づくりの支援、各種団体等への参加の支援等について、関連団体と連携をして進めていきます。

【 主な取組 】

◇ことぶきクラブ連合会に対して、活動費を助成し、その活動を支援します。

◇高齢者サークルに介護予防を委託します。

◇高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づく施策に取り組みます。

（参考：P44）

施策（19） 障がい者が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

【 施策の基本的方向 】

障がい者が家庭や地域で安心して暮らすことができるよう、生活支援や生活環境の向上に取り組むとともに、社会参画ための支援を行います。

【 主な取組 】

◇障がい者からの相談に応じ、指導や情報提供を行う相談員を設置します。

◇地域福祉計画に基づく施策に取り組みます。

（参考：P45）

施策（20） DVやジェンダーに関する悩みの相談、救済・支援体制づくりを進めます。

【 施策の基本的方向 】

配偶者や恋人からの暴力を相談することは容易なことではないため、十分な配慮とプライバシーの保護に努め、相談、保護体制づくりを進めていきます。

【 主な取組 】

◇家庭児童相談室でDV相談等に対応します。

◇婦人相談員等の各種研修会に参加し、相談員の資質向上を図ります。